



ROTARY INTERNATIONAL

<ORIGINAL>

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Club Presidents and Secretaries of
District 260

事務所・〒488尾張旭市東大道町原田2570尾張旭市商工会館 Phone(05615)4-2622

9

ガバナー 奥谷博俊

15 FEBRUARY 1985

昭和60年2月15日

Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



【写真】青少年交換学生オリエンテーション(軽井沢)



会員数百万人を目標

カルロス・カンセコ会長が設定した会員数百万人の目標は、もしも全クラブがそれぞれの目標を達成されるならば、今年度中に実現する範囲上にあります。各既存クラブが約2名ずつの純増を達成したならば可能です。12月中旬現在の新クラブ数は204クラブで、昨年度の同期に比し少し上回っています。

カンザス・シティー大会への事前登録

ロータリー創立80周年記念大会への事前登録数は、12月初め現在、42か国、2,200名を上回っています。4月15日までは夫婦1組につき\$170で登録できます。早目に申込み下さい。

規定審議会への立法案提出締切期日

1986年規定審議会で審議される立法案の提出期日は1985年5月1日。もしも貴地区大会がこの期日以後に開催される場合、地区として提出したい立法案がある場合には、地区内のクラブから直接提出されることを勧めます。4日間の規定審議会は、シカゴで1986年2月3～6日に会合することになっています。

数次寄付者を証す青い石入りの襟ピン

ポール・ハリス・フェローになられてから、更に千ドルを追加寄付された方には、青い石が1つ入った新ポール・ハリス・フェローの襟ピンが贈られます。青い石は千ドルの追加寄付をされる度毎に、計5つまで追加されます。そのように追加寄付されるポール・ハリス・フェローの方は、その追加分を他の人をポール・ハリス・フェロー、或いは準フェローに指名することに適用できます。更にそのような追加寄付は、クラブおよび地区の%順位にも加算されます。尚、既にポール・ハリス・フェローになって以

来、千ドルの追加寄付をされている方は、その旨お知らせ下されば、新しい襟ピンをお送りします。

財団への寄付1983～84年度のレベルを超過

ロータリー財団への寄付金額は、1983～84年度に新記録を作りました。その総計額はUS\$21,913,289で前年度比15.1%の増加です。また、1984～85年度の最初の4か月間の寄付額は、昨年度よりも更に25.5%の増加率を示しています。昨年度のASIA地域での寄付額はUS\$6,462,353で、前年度に比し9.6%増加し、会員1人当り38.91ドル、全体の29.5%に当たります。

救援を求めている地域

最近、エチオピアの飢饉、インド、ボパール毒ガス事件、コロンビアの洪水などの罹災者への救援を促す通信を発信しました。今週は、インド、デリー地区のLalit Mehra地区ガバナーから次のようなテレックスが届きました。「インディカ・ガンジー首相の暗殺事件後、人々の生活は漸く平常に戻りつつありますが、当地区では多数の人達が困難状態にあり、助けを求めています。世界中のロータリーの関心と救援が望まれます。」救援資金は、「第301地区救援資金」と明記して、在日財務代行者宛にお送り下さい。

3-H活動について

3-Hプログラムが1979年に着手されて以来、プロジェクトの支出予算は1,160万ドルを超過し、3-Hのプロジェクト、ワクチンの配布、ボランティアの派遣などを受けた国は46か国にのぼり、35か国の53件のプロジェクトが承認されています。免疫性の付与が現在の支出予算の37%を占め、農業、栄養の摂取、飲料水が24%、保健、厚生事業が20%となっています。32か国から320人余りのボランティアが34か国で奉仕されました。免疫性付与事業は16か国で、2,350万人の子供達をポリオから守ることになります。

財団活動の方針、その一部修正

財団管理委員会にて採択された決定の一部。

ロータリー奨学生への任務

ロータリー奨学生は、その親善使節として任務遂行に当り、次の務めを果たすものとする。

(1) 指定された海外の留学機関へ出発する前に、少なくとも1回、スポンサークラブで講演する。(2) 留学期間中に、ホスト地区にて少なくとも5回はロータリーの会合で、少なくとも1回はロータリー以外の会合で講演し、ホスト地区の地区大会に出席する。(3) 留学を終えて帰省後(1か年以内に)、少なくとも5回地元のロータリークラブで、少なくとも3回ロータリー以外の会合で講演する。(4) 奨学生は地元で、また留学中に、報道機関とのインタビューに応ずるものとする。

大学院課程奨学生の年令

1986～87年度奨学金より以降、大学院課程奨学生の年令は、18才から30才までとする。但し、この年令条件はロータリークラブへ提出する申請書の締切期日現在とする。

財団プログラム参加者のオリエンテーション

奨学生およびGSE参加者は全員、出発に先立ち、オリエンテーション資料を受けとります。

(1) ロータリアン必携の第1巻(総論)と第7巻(ロータリー財団) (2) ホスト国の基本的特長や文化的統計資料を集めた“Infograms”と“Culturegrams” (3) 元財団奨学生によって企画された文化の相違を自覚させる資料 (4) 財団プログラムに参加することに伴う責任を要約した要覧など。

その他

1985年国際大会では、1986年7月1日より2年の任期をもって就任する7人のRI理事が選挙されます。アジア地域ゾーン1から伊藤義郎(日本 札幌)が、理事ノミニニーとして宣言されています。

国際ロータリーとロータリー財団は、INTER-CHANGE と呼ぶ国際会議を1985年4月10～13日、オーストリアのウィーンで開催する予定です。この会議はいろんな国際交流に携わっている組織団体のリーダーを対象として行なわ

れ、次の世代における国際交流の傾向、必要、問題点などについて討議されます。この会議の参加者は主として、国際交流を行なっている非営利団体の代表者で、関係官庁の代表、一般の会社やロータリー代表者達も招待されます。

RI理事会決定事項抄録

(1984～85年度第2回理事会)

1987年アジア地域大会

次期アジア地域大会は、1987年10月12～15日、インドのデリーにて開催せんとするデリーロータリークラブ提出の招致状を受諾した。この決議は既定の方針に基づき、必要な契約手続などが完了することを条件として採択された。

教育を通じての平和委員会の報告

教育を通じての平和委員会から提出された勧告案を検討し、現在既にクラブレベルにおいて平和を促進できるプログラムや活動が存在することを認め、その目的を達成するには、現存する方法につき、各クラブがそれにめざめることを必要とする旨を決議した。これに関連して、教育事情や交換活動を通じて平和を促進する下記の方法に重点を置くことを各クラブへ奨励する旨を決議した。

1) クラブや地区による中学校、高等学校の生徒を対象とした世界事件に関するセミナーの開催(例えば、国際理解における冒険、世界問題、世界事件研究会など)。

2) 青少年交換活動などのロータリーにおける交換活動(出来ればロータリアン夫人の直接参画)、試験的プログラム、ロータリー友情交換活動の参加の拡大。

3) 地元の大学に留学中の外国人学生に対するホスピタリティープログラム、その地方に居住するロータリー財団の学友を起用。

4) 中、小学校のクラスで話をする講師に外国人学生を迎える。

5) 地区大会のプログラムに、国際理解(核兵器、国際貿易などを含む)についての記念講演、討論会など。

6) 国際青少年の年、国際平和の年について

の各地方および全国的活動にロータリアンが直接参画する。

国際ロータリーの国際企画会議

国際ロータリーの国際企画会議の成否をテストするため、ロータリークラブおよび地区としての新しいプログラムや活動を提案し、よりよい世界を築くためのロータリープログラムの向上をはかる方法を探究し、計画することを目的として「ロータリーの将来についてのフォーラム」を、ドイツのミュンヘンで開かれる予定の1987年国際大会のプログラムの一部として、或いは同大会に関連させて開催することを決議した。

拡大カウンセラーと会員増強についてのセミナー

1984～85年度に開かれた拡大カウンセラーセミナー、会員増強セミナーについての報告を検討し、セミナープログラムに幾つかの修正をして、この2つのセミナーを1985～86年度にも続けて開催することを決議した。

ロータリアンの婦人親族

ロータリアンの婦人親族よりなる組織団体に関して、一層明確な方針を採択する必要を認め、各ロータリークラブが下記の指針範囲内にて、ロータリー会員の夫人よりなる団体またはグループを非公式にスポンサーすることを奨励する意向を表明した。

1) 婦人の賛助グループ、委員会、団体などは、主人が会員となっているその地方のロータリークラブに付属し、定期的な連絡を保つこと。

2) ロータリアン夫人よりなる団体の目的には、ロータリークラブの奉仕活動を支援し、会員間の友愛を奨励し、ロータリーの理想の推進を含むべきこととする。

3) そのようなグループの活動、プロジェクトおよびプログラムは、主としてその地方のロータリークラブの目的を支持、或いは賛助するものであること。

ロータリー奨学生と親善使節としての務めと財団奨学生に対するロータリアン顧問の任務

1) 全ロータリー奨学生が、その親善使節としての務めを果す全必要条件を満たすことができるように、それに必要な招待状を発送することをロータリークラブ、地区ガバナーに要請。

2) 地区ガバナーよりロータリー財団奨学生のカウンセラーとして任命されたロータリアンは、ロータリー財団管理委員会によって定められた任務を遂行することが要請されている。

ロータリー財団の目的

それを一層明瞭にするため、財団管理委員会では、1984年10月の会合で、下記の通り財団の目標を簡潔に表現した非公式な代案を採択し、理事会は今回の会合にてそれに賛成した：

国際ロータリーのロータリー財団の目標は慈善的および教育的な国際的プログラムを通じて、世界理解と平和を実現させることにある。(手続要覧1984年版 133頁に記載)

推奨クラブ細則第3条第4節の修正

1983年規定審議会での決定により、国際ロータリー細則第15条第4節(a)は、各半期中に入会した会員の比例人頭分担金についての条項が加えられ、修正された。この修正を推奨ロータリークラブ細則にも反映させるため、クラブ幹事の任務を規定した推奨クラブ細則第3条4節を改正した：

幹事の任務は、(中略)毎年1月1日および7月1日現在をもって国際ロータリー事務総長に対して行なわなければならない半期会員報告と、7月または、1月の半期報告期間に入ってからクラブへ入会した正会員、シニア・アクティブ会員、およびバスト・サービス会員につき事務総長へ提出する半期中間報告、国際ロータリー事務総長に対する会員資格変更報告(中略)を行なうにある。(手続要覧1984年版 224ページに記載)

世界理解月間に因んで

パストガバナー 佐藤 知雄

国際ロータリーでは2月を“世界理解月間”と指定して各ロータリークラブに世界理解に協力するよう要請している。これはロータリアン1人1人が世界各国のそれぞれの立場と境遇を理解して世界平和に寄与するよう強調するものである。

今や全世界においてロータリークラブをもつ国および地理的地域は159か国、会員数は96万3千人以上であり、近く100万人のロータリアンが世界中で腕を組んで、奉仕の活動を続けるときが来るであろう。1人のロータリアンが家庭の人や知人などでロータリーの奉仕の精神に共鳴する人を9人ずつ持つとすれば、世界にロータリーの理解者が1千万人いることになる。これはあり得ない算術計算ではないと思う。

世界中にて1千万人の人が奉仕を各自の生活指針として活動するならば、これは大きな力(パワー)となるであろう。従ってロータリー精神を以て、相互の国を理解し合うならば、各国間の親善は向上するに違いない。ただ残念なことに、共産国においてはロータリークラブがないことである。イデオロギーの相違からであろうが、これを将来何とかして世界中に空所がないように、ロータリー精神が行きわたることを希う。

私は毎年いろいろな会議や学術討論のために各国を訪ねる機会が多い。西側諸国はもちろん共産国も訪ねている。そうして多くの友人と語り、親睦を深めているが、個人的な関係において未だかつて不愉快な事柄に出会ったことはな



い。完全に理解し合い、良き友人達ばかりである。こうして世界理解は無理なく進められるのに、これが集団となり、国と国との接触になると、イデオロギーの相違から資本主義国と社会主義国、または南北間、経済利害の関係などから、平和が乱されているのは遺憾なことである。

ロータリアンは地域社会においてよき奉仕をなすと同じように、国際社会においてもよき奉仕者となり、またよき理解者となって、貧しき国の人々、飢えに喘ぐ人々を助けて、人類は1つであるという信念をもたなければならない。

人類愛の精神、これはロータリーの奉仕の極致であると思う。愛なき奉仕は売名であって、ロータリーの奉仕は常に愛を基調とする。この精神こそ世界の国々を理解する出発点であり終着点である。

ここに掲げたスナッフ写真は(ピント外れであるが)昨年8～9月に西独のシュツットガルトにおける国際会議に世界各国から集った人たち、コーヒープレークのひととき、楽しく語り合う。もちろんこの中には共産国の人たちもいる。

雑 感

東北信分区代理 荻原 雅

年令のせいか、思い出も感激も足早に薄れていってしまう。薄れゆく記憶の中で、2～3感激の事ども申し上げて責を果したいと思う。

私は小諸RCに入会させて頂いて既に20年。20年にして改めて感じた事は友情である。

計らずも本年度の東北信分区代理に指名されたが、困った事にぶつかった。それは私が車を

◆ 2月23日はRI創立80周年記念日、ならびに世界理解と平和の日です。「新生面」の企画をご期待申し上げます。

◆ 4月は雑誌月間です。有効な月間になるようご準備をお願いいたします。

運転しない事である。「各クラブをガバナー公式訪問に合わせて2回以上訪問する事が分区代理の一番の仕事である」と聞かされているからである。そんな或る日、丸子RCの高橋さんが当Cの例会にメークアップされた。たまたま席を隣して話は自然と分区代理の各C訪問に及んだ。

高橋さんはためらう事なく、「私が運転手を勤めましょう、私も自ずとMUが出来るから」と言われる。その真剣な面持と、以前より親交の間柄であり親戚筋にも当るので、そのご好意に甘える事にした。ロータリーの友情を体験した一駒である。更に私が感激したのは、高橋さんが訪問日に都合つかない時に、他の丸子クラブの会員の方が代理運転をして下さった事だ。仲々出来ない事で、4つのテストの具現である。

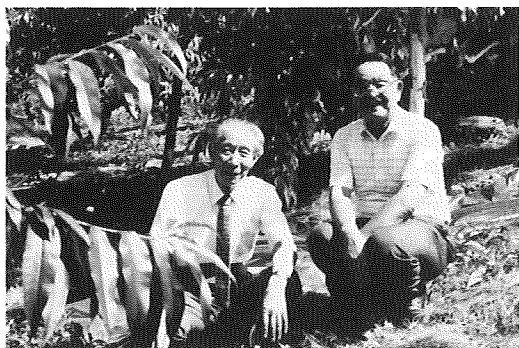
このような好意と友情は、どのクラブを訪問しても感じられた。何等の権限も持たない分区代理の私に対して、各Cの会長幹事さん始め会員の皆様が敬愛の念をもって接して下さった事は私が年輩であった事も理由になろうが、実はロータリアンは「純」そのものであると言えるのではなかろうか。

本年度RI会長のテーマ「見つけよう、奉仕の新生面」を胸に抱いて、奥谷ガバナーに於かれては、260地区のニーズを求めて各Cを訪問され、そして適切な診断をされ、納得のいく進路をお教え下された。

私もガバナーにお伴して、或いは単独で分区内の各クラブを訪問した。そしてテリトリー内の現況を踏まえて、どんな新生面が考えられるかをクラブと共に考えた。

①クラブ奉仕に於いて

(イ)例会の司会は殆どのクラブがSAAの担当であるが、各クラブ共そのユニークさが出ていて面白く、クラブによっては当番制をしいてお



り、この場合は人夫々のユニークさが出て例会を和やかなものとしている。

(ロ)「広報は宣伝ではなく実質を踏まえた社会の認識である」と奥谷ガバナーは言われる。佐久Cはその事を実践された。1月6日の信毎に、「佐久ロータリークラブの善行、アフリカ難民に毛布を送る」という見出しで記事がのっていた。主婦達から贈られる毛布をあずかる佐久ロータリアンの写真もあって、広報には確かな手ごたえが感じられた筈である。要するに善意を行動に表わす、これが即広報なのだ。

「100回は1見に如かず」と云うが、100のお喋りは1の行動にも及ばないのだ。善意を行動に現わすことは勇気の要る事だ。

②職業奉仕に於いて

職業倫理については各Cともよく弁えて居られる。職場にオアシス運動を取り入れる等職場の規律を守り質の向上と和やかな雰囲気気に気を使つて居られる。更に自分の職業が社会に対してどういうつながりを持ち、どういう奉仕が出来るかを考える事だ。扉は開けると思う。

③社会奉仕に於いて

奥谷ガバナーは公衆衛生の面で人の健康管理についてのリーダーである所から、各Cへの公式訪問には環境の浄化、クリーンからグリーンへを主張された。環境の浄化は同時に心の浄化に連なり社会教育の問題ともなる。そのためか当分区内の各Cは自然保護の面に非常に関心を高め、緑や花等の保護者育成に社会奉仕の重点をおくようになった。

④国際奉仕に於いて

この面では当地区は遅々としていると言わざるを得ない。山間避地でも可能な国際交流の道を掘り起こす事が賢明であろう。

【付記】奥谷ガバナーは東北信分区14のCを公式訪問された。私は全Cにお伴をした。或る日は緑深き山峡にセセラギの音を聞きながら寝を共にした。何よりも嬉しい事は佐久地方3C訪問の折り拙宅を宿にして頂いた事だ。写真はその時の桃畑での寛ぎ。

小諸Cの公式訪問は計らずもガバナーのお誕生日であった。公務の為とはいえ奥様と共に祝う事の出来ないのはうらめしい事だ。当Cでは花束を捧げて先生のご誕生を祝った。

ロータリー財団寄付一覧表

1984年12月1日現在（単位：ＵＳドル）

クラブ名	会 員 数	(83 年 12 月)	本年度累計	寄付額累計	達 成 率 %	上位への 必 要 額
あ ま	74		5,997.78	64,851.97	8800	202.02
安 城	70		2,600.00	44,263.43	6400	41.30
渥 美	59		57.00	11,955.06	2300	337.48
尾 西	55		2,629.96	24,736.85	5000	316.25
茅 野	28		0.00	1,522.73	600	146.16
富 士 見	33		42.00	6,825.03	2200	93.72
蒲 郡	69		2,699.94	24,810.93	3500	313.26
白 馬	38		277.32	11,009.71	3300	231.80
半 田	65		2,111.13	37,787.33	5900	315.25
半 田 南	46		958.00	13,733.08	3400	391.00
碧 南	71		1,899.94	29,574.68	4300	284.71
東 知 多	48		1,020.00	22,501.81	5100	398.40
一 宮	86		1,489.96	37,039.64	4200	172.00
一 宮 北	76		88.99	33,635.21	4600	386.08
飯 田	86		0.00	36,825.73	5100	804.10
飯 田 南	78		510.65	36,141.77	5100	648.18
飯 島	36		0.00	22,251.10	6800	49.32
伊 那	86		11,836.99	44,855.40	6200	168.56
稲 沢	49		559.96	25,893.15	5100	317.03
犬 山	77		709.28	42,922.07	6000	311.08
一 色	48		294.98	18,803.95	3600	375.84
岩 倉	33		339.97	8,864.23	2400	193.38
刈 谷	84		5,377.80	59,814.55	7600	550.20
軽 井 沢	39		1,194.98	21,249.25	5600	207.87
春 日 井	81		3,619.93	61,504.21	8000	466.56
木 曽	49		58.00	27,975.14	5900	343.00
駒 ヱ 根	64		4,000.00	53,100.09	8800	560.64
小 牧	62		669.95	37,161.87	6600	408.58
小 諸	60		0.00	48,057.14	8800	223.80
江 南	62		5,025.35	44,080.35	7000	175.46
丸 子	37		37.00	8,766.05	2500	307.10
松 川	53		0.00	17,951.65	3900	208.29
松 本	76		1,649.94	47,889.29	6300	621.68
松 本 南	79		1,800.00	42,930.13	5200	428.18
松 本 西 南	49		47.00	21,548.17	4900	175.42
南 佐 久	25		202.57	9,917.34	3600	144.50
箕 輪	29		0.00	17,129.36	5700	130.50
長 野	91		474.96	50,415.69	5700	556.92
長 野 東	78		0.00	38,446.21	5500	759.72
長 野 南	35		35.00	6,538.15	2100	288.75
名 古 屋	224		5,824.91	119,903.46	5400	965.44
名古屋空港	64		371.99	29,536.49	4900	398.08
名古屋千種	52		274.98	16,877.81	4200	501.80
名古屋東	93		6,518.96	63,706.67	7000	490.11
名古屋名北	56		2,894.98	30,671.90	6800	421.68
名古屋名東	54		1,589.98	14,648.88	3200	430.38

クラブ名	会 員 数	(83 年 12 月)	本年度累計	寄付額累計	達 成 率 %	上位への 必 要 額
名古屋瑞穂	61		2,394.97	13,020.14	2400	599.63
名古屋守山	81		913.03	41,820.94	5400	613.17
名 古 屋 中	98		3,493.91	71,124.36	7900	835.94
名 古 屋 北	97		3,262.99	103,883.94	10300	149.38
名古屋南	118		2,819.96	65,271.17	5600	1,112.74
名古屋東南	85		1,124.97	74,507.48	9200	820.25
名古屋和合	77		2,549.97	34,641.01	5400	472.78
名古屋西	150		5,397.54	91,344.23	6400	207.00
中 野	48		44.00	8,212.60	1500	35.52
西 春 日 井	64		865.60	36,682.84	5200	210.56
西 尾	79		110.00	32,976.54	4500	360.24
岡 谷	62		0.00	35,909.57	5800	155.00
岡 崎	89		1,640.96	62,108.94	7500	655.04
岡 崎 東	59		2,850.74	33,135.95	5900	368.75
岡 崎 南	80		3,497.91	48,879.81	6800	678.40
奥 三 河	52		56.00	32,577.32	6500	400.40
大 町	61		62.00	20,707.21	3200	56.12
尾 張 旭	47		245.98	24,179.15	5400	114.68
名古屋港	105		1,011.96	60,730.18	5500	911.40
佐 久	40		379.97	6,074.92	1900	172.80
瀬 戸	76		1,411.24	38,288.62	5900	62.32
瀬 戸 北	50		2,061.00	21,925.93	3500	24.50
新 城	49		61.00	13,190.19	2800	103.39
塩 尻	39		666.72	5,084.68	1500	70.59
諏 訪	61		0.00	25,965.91	4600	223.87
須 坂	46		2,000.03	5,937.04	1500	177.56
田 原	70		500.00	32,911.77	5500	331.80
高 浜	44		1,118.45	20,258.81	4500	55.88
辰 野	49		200.00	29,882.94	6200	302.82
戸倉上山田	37		184.99	7,746.83	2000	242.35
東 海	51		2,479.96	27,871.69	5900	503.88
常 滑	59		329.97	30,002.58	5200	457.84
豊 橋	116		1,559.96	78,575.87	7300	1,127.52
豊 橋 北	105		4,086.99	54,016.52	5500	245.70
豊 橋 南	70		0.00	28,465.54	4500	82.60
豊 川	79		839.93	32,443.22	4800	782.89
豊 田	87		290.51	36,795.74	4200	805.62
豊 田 東	59		0.00	9,488.48	1900	79.06
豊 田 西	73		97.41	18,060.66	3100	286.16
津 島	74		2,469.97	38,693.00	5300	421.06
上 田	61		1,132.98	32,723.07	5800	37.21
上 田 東	53		2,097.00	16,351.28	4000	464.28
尾 張 中 央	0		0.00	1,849.38	0	0.00
長 野 北	0		8.00	2,508.12	0	0.00
松 本 東	0		349.98	349.98	0	0.00
合 計	5,868		134,460.68	2,997,800.86		

数値はロータリー財団本部の集計資料による。

奉仕の新生面を求めて…

(4)

7

犬山RC会長 伊藤 喜八郎

昨年5月事業計画にあたり、クラブのメイン事業を当クラブ国際奉仕委員会に立案を依頼した。

国際奉仕委員会では、委員会活動にカンセコRI会長のテーマ「見つけよう 奉仕の新生面」をいかに反映させるかを討議した。

当クラブでは、台湾草屯クラブと9年前より姉妹提携し、毎年交流し友情を深めあわせて国際親善をはかって来た。そして昨年、一昨年には当クラブが育成団体となっているボーイスカウト、ガールスカウトを夏休みに草屯クラブへ派遣、先方のボーイスカウトと連合野営や、会員宅でのホームステイなどを実行し、両国の青少年の健全育成、国際親善に貢献し多大の成果を上げることができた。

国際奉仕委員会での議論の焦点は、今迄行ってきた有意義なスカウトの訪台の「継続」か「中断」かを、口角あわを飛ばして激論をした。

その結果、本年はRI会長のテーマに添って「Discover」しようと決定。新企画を計画、21世紀へ向けて「タイムカプセルの埋設」と決定した。

「タイムカプセル」我々にとっては耳新しい言葉ではないが、先方ではこのような事例がなく、まず主旨説明から始まり、埋設内容を始め場所の選定、カプセル本体を永年の浸食に耐えるには何にするか、など現実的な諸問題調整のため委員の事前訪台及び数回の連絡により逐次理解協力をえて先方の創立記念日に実施の運びとなった。

「友愛号」と名づけたタイムカプセルには、両クラブの会員のメッセージ、ロータリークラブの資料、地域社会の資料など、21世紀の夢を託し永遠の友好を念じながら世界平和の願いをこめ西暦2000年の開封をめざして、日台共同のタイム

カプセルとして昨年11月に台湾草屯の地に埋設した。

台湾では、初めての試みとあって現地の住民からも大歓迎をうけ各新聞はこぞってトップ記事として大きく報道されたことはそれだけでも相当な評価があったと思う。それと同時に、両クラブが一つの事業を共同して実施したことにより、会員相互の一層の連帯感と親密感が強まり、日台両国の永遠の平和親善の役割を大きく推し進めたと思う。

タイムカプセル埋設事業を草屯創立記念日に合わせた事もあって、当クラブからは会員24名婦人4名の大勢の参加をえた。加えて草屯クラブが提携している当クラブの他、鳩ヶ谷ロータリークラブ（埼玉県）、築館ロータリークラブ（宮城県）とも現地で合流し、記念式典に参加すると共に4クラブで懇親を深め友情を暖めた。

鳩ヶ谷、築館両クラブも今後青少年の海外派遣問題を前むきに検討されることになり、本年草屯ロータリークラブの会員が来日の折には日本側3クラブと草屯クラブで次期青少年の派遣について合同会議を開催することなどの合意事項を確認した。

こうして当クラブ国際奉仕委員会が投じた一石は、次第に大きな広がりを見せようとしている。今後も地道な歩みの中に「奉仕の新生面」を求めて、共に手を携えて積極的にロータリー



活動に邁進し国際親善に一層努めたい。

8

一宮RC会長 野口 政一

カルロス・カンセコ本年度RI会長のテーマ Discover a New World of Service の中で、「奉仕の新生面」とは何を差すものか、どうすればよいのか、ということをも、まず理解して頂くこととし、昨年6月、全会員にカンセコ会長からの日本のロータリアンに対するメッセージ、(RI 菅野理事翻訳) 及びD 260 地区協議会における奥谷ガバナーのご挨拶要旨の写を作成、全会員に配布、趣旨の徹底方について全会員の理解を得て、各委員会活動の計画により実施に入った。思うに、ロータリー発足以来、今日ほど、RCの地元は勿論、広くは全世界の状況がロータリー活動を必要としているような時は、なかったのではないかと思う。

それは、社会情勢が急速に変化し、それに伴い対応できる面と、そうでない面が顕著になっている状況によるもので、自然環境破壊の進行、世界の食糧事情のギャップ、世界の飢餓人口増、社会の高齢化、技術革新を背景としたマイクロ・エレクトロニクス (ME) 化、情報社会におけるニューメディア化などの社会情勢下にあるため、「奉仕の新生面」を求めて対処しなければならないと思う。

組織の充実 (Club 健康作りの原点) のためには、その属する地域の実体をよく把握し、その上に立って実行する。例えば、会員増強は、数の増が即ち、質の増につながる結果となることでなければならず、それは、各RCの記録をよく調査し、先輩各位より過去から現在までの実情を聴取して、健康な方で、ロータリアンとして十分活動的素質と環境の下にある人を、会員を通じて、見つけること。このことは、本年度僅かの体験ではあるが、関係各位の温いご協力、一応の目的を達することができたものと思っている。また、一番基本で、大切なことは、例会であり、例会は、会場監督や、幹事に運営の新機軸を勘案して頂き、親睦委員会にも、ご協力を願い、新機軸の方針について、全会員の協力を求め、例会時間の有効的活用を図ってい

る。お祝を受ける会員は、一番上席の寿席に着席し、平素語り合う機会の少ない会員も席を同じくして歓談の機が得られる。食事中には会員のリクエスト曲を演奏し、例会をより和やかにすることに努めている。親睦活動はまず、年度当初、新会員を中心とした親睦会の開催、親睦行事はご家族の参加が得られるような内容の工夫、それに対応した場所の選定、そして、会員、家族の楽しい集い、という趣旨の徹底を期し、より低額で済むようにした。年末忘れ家族会は地元の施設で実施、bingo game 当選者、福袋当選者から、「ニコボックス」へ若干のご喜捨を願い、それは、年末助合い運動に、新聞社を通じて寄贈した。職業、社会、国際、青少年の各奉仕委員会は、前年度中から、会合して各委員会毎に、新しい奉仕活動を1つ以上実施、職業奉仕月間には、職業奉仕の度合と効果の評価測定、職業による奉仕の日を決め、その日は、全会員「職場を大切にしよう」の胸プレートを職場及び例会場に於いて貼用している。社会奉仕では、基本的考え方を、物の奉仕から、心の奉仕に切替え、その上に立って、奉仕活動を実施。ローターアクトクラブの充実に寄与。国際奉仕では、第345地区新竹RC創立30周年を記念して友好提携を姉妹提携とし、かつ、新竹RCの記念行事に参加協力し、国際親善と国際理解を深めて友好親善の実をあげた。青少年奉仕では、一宮女子高等学校インターアクトクラブ (創立会員31名) を一宮北一宮、尾西3RC共同提唱で発足させることができた。その他、ロータリー財団及び米山記念奨学会に、特別の寄与を考えている。

クラブ公式訪問の際に感銘深く拜承した事例を、「新生面」シリーズとしてご報告いただいて来ましたが、紙面の都合上すべてをご紹介できず残念に思います。掲載させていただいた以外にも各地での尊いご努力に只々頭の下がる思いでした。



職場を大切にしよう

(奥谷記)

故 伊藤次郎左衛門さんを偲ぶ

当クラブ1月8日第27回例会（1800回）は、昨年12月29日にお亡くなりになった伊藤次郎左衛門さんが当クラブ、ならびに当260地区にたいし多大の功績を残されておりますことを思い浮べ、またそのお人柄を偲ぶ例会といたしました。

当日私から故人の当クラブならびに国際ロータリーに対し残された功績の数々を申しあげました。ついで故人と親しくお付き合いをしておられました近藤友右衛門さん、水野智彦さんから故人の徳を偲ぶお話を承りました。

伊藤さんのお生まれは明治35年7月5日で当クラブへの入会は1933年（昭和8年）31才の時でした。昭和15年副会長、19年会長、また27年にも会長におつきになっておられます。地区関係では昭和30年度と45年度の2回にわたり、当地区ガバナーを務められました。

また、国際青少年交換委員長を37年につとめられ、このような種類の委員長になられたことは、20数種類、約30年間に及んでおられます。誠に敬服いたしております。

ついで近藤友右衛門さんのお話は、そのおおらかなお人柄を偲びつつ終戦直後、名古屋がすっかり焼けてしまい会場がなくなったとき焼け残った松坂屋の地下室の会議室をロータリーの会議室にお貸し下され、会員は全員お米持参で、松坂屋で炊事をしてもらい例会を開いたり、またその後常盤塾（トキワホテル）を例会場にお借りした等、色々な面でロータリーのためにお骨折り下され、大変なご尽力をいただいたとのことでした。

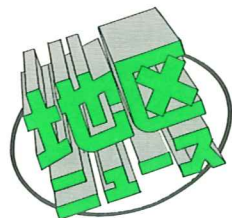


また、水野智彦さんのお話は、故人のお人柄を偲んだのち戦時中困難な時代、軍の命令でロータリークラブというような英語の名前はいけないということで、

これを同心会と改めた時があり、昭和19年にその同心会の会長を務められ、これがロータリーの復活第1回目の会長（通算20代目）とられたように記憶しておりますとのことでした。

お2人のお話のように伊藤さんはロータリーにたいし多大の貢献をされたこと、またそのお人柄はおおらかでユーモアに富んだ方であったことなどをお偲びし、心からご冥福をお祈り申しあげます。

名古屋RC会長 田谷 芳重



◀名古屋大須RC誕生▶

2月7日、かねてから名古屋中ロータリークラブが創立15周年を期して拡大準備中であった「名古屋大須ロータリークラブ」の創立総会が名古屋市中区のプリンセス・ガーデンホテルで厳粛のうちにも盛大に開催されました。式は例会の方式に則って行われ、国歌、ロータリーソング、来賓の紹介、出席状況報告などのあと近

米山記念奨学会特別寄付

(単位：円)

日 付	クラブ名	個人数	寄付金額	日 付	クラブ名	個人数	寄付金額	日 付	クラブ名	個人数	寄付金額
12/4	一宮		100,000	12/14	尾張旭	1	300,000	12/22	名古屋和合	1	300,000
4	碧南	1	300,000	14	松本	7	70,000	22	名古屋和合		305,000
4	岡崎東		6,518	15	春日井	8	570,000	25	名古屋空港	1	60,000
5	瀬戸	1	300,000	15	春日井		169,000	25	尾張中央		50,000
5~18	渥美	3	250,000	15	豊橋南	1	30,000	25	豊川	1	30,000
6	名古屋	10	2,730,000	17	名古屋南	2	60,000	28	高浜	2	129,000
10~18	岡崎	2	40,000	17	豊田西	1	300,000	31	小諸	28	1,000,000
10~24	上田東	6	280,000	20	半田南		100,000	31	碧南		66,000
12	あま	1	50,000	20	豊橋	2	600,000				

藤徹ガバナーズエイド（名古屋中RC）の音頭で創立を祝って赤葡萄酒で乾杯、昼食となりました。食事のあと、名古屋中RC拡大特別委員長で元尾張第一分区代理の山田昇平君が創立に至る迄の経過報告のあと、パストガバナーの大隈孝一特別代表が議長となって、クラブ定款細則の決議、理事役員の選出などの総会議案が満場一致で承認されました。そのあとスポンサークラブの名古屋中ロータリークラブ福与会長との挨拶並びに寄贈品の贈呈、ガバナーの挨拶、宮木尾張第一分区代理の祝辞などがあって、ここに地区内今期第1号、名古屋市内15番目、尾張第一分区20番目の新しいクラブ名古屋大須ロータリークラブが目出度く誕生いたしました。

準備期間中、名古屋中ロータリークラブ会員の協力、指導の下4回程の例会通りの会合を持った成果が表われて、例会の進行やロータリーソングも立派な出来栄で、若い人が多いため若々しく明かるいクラブの様子が見受けられました。

ここに心よりその前途を祝し、ご発展をお祈り申し上げます。

（仮）名古屋大須ロータリークラブ

会 長 山田昇平

幹 事 松岡浩一

会員数 40名

例会日 木曜日 12:30～13:30

例会場 名古屋市中区栄3-13-31

プリンセス・ガーデンホテル

TEL (052) 262-4111

事務所 同上プリンセス・ガーデンホテル内

直通TEL (052) 251-0181

◀会 合 報 告▶

● 岡谷RC創立25周年記念式典

1月20日(日)長野県婦人総合センターにて海外友好クラブからの祝賀団を含む来賓多数と共に盛大に挙行、記念事業は「私の職業奉仕」「25年のあゆみ」両誌の刊行、新市庁舎建設

計 報

1月17日	平 野 賢 治殿	(豊 橋)
21日	神 谷 恒 一殿	(高 浜)
31日	高 橋 莊 介殿	(名古屋和合)

おめでとう

新ボール・ハリス・フェロー

宮沢 博史(駒ヶ根) 今村 達雄(西春日井)
西川 秀栄(上 田) 尾関 清(豊 田)
岡本 清(名古屋瑞穂) 上村千一郎(豊 橋)
中川啓二郎(名古屋瑞穂) 深見 好(豊 橋)
石川 盛雄(西春日井) 森 玉郎(名古屋港)

ボール・ハリス・フェロー数次寄付者

小島 長作(名古屋南)(2回目)

新 米 山 功 労 者

新美惣右衛門(碧 南) 高橋 正蔵(名古屋)
加藤 榮吾(瀬 戸) 矢島卯太郎(上田東)
浅野 甚七(名古屋) 加藤 正高(尾張旭)
長谷川栄一(名古屋) 乃一 良吉(春日井)
林 鎌蔵(名古屋) 河合 銀一(豊田西)
平松 一道(名古屋) 山本 博明(豊 橋)
盛田 家弘(名古屋) 松井英治郎(豊 橋)
野口 圭一(名古屋) 鈴木 隆佳(名古屋和合)
河合 斌人(名古屋) 小山万喜男(小 諸)
田谷 芳重(名古屋) 荻原 雅隆(小 諸)

記念品準備金 300 万円計上など。

● 第4回諮問委員会

1月26日(土)名鉄グランドホテルに於いて。

1. ガバナー近況報告
2. 1984-85年度地区年次大会報告
3. 同 年度「意義ある業績賞」推薦の件
4. 同 年度 I G F アドバイザー委嘱の件
5. 1986-87年度ガバナーノミニ選出の件
6. 1985-86年度分区代理選出の件
7. 同 年度地区年次大会企画委員委嘱の件
8. 1986年度 RI 規定審議会代議員及び補欠者の選考の件
9. 1985-86年度地区組織並びに人事に関する件

● 青少年交換学生オリエンテーション

2月2日(土)～4日(日)松本RCがホストとなり、軽井沢セミナーハウスに於いて、受入・派遣・帰国の交換学生計約50名が参集、本号表紙写真のように楽しく有意義なひとときを過ごした。

昭和60年 1 月

分 区 別 会 員 数 及 び 出 席 率

昭和60年 1 月31日現在

分 区		クラブ名	会 員 数	出 席 率	例 会 数	昭 会 員 数 59 %	増 減
尾 張 第 一 分 区	○ ○ <						

分 区		クラブ名	会 員 数	出 席 率	例 会 数	昭 会 員 数 59 %	増 減
三 河 第 二 分 区	○ ○ ◎ ◎ ◎ ○ ○	安 城	71	99.65	4	71	0
		碧 南	69	98.51	4	69	0
		刈 色	51	99.51	4	49	2
		西 谷	86	99.33	4	83	3
		岡 尾	79	98.69	3	77	2
		岡 崎	99	100.00	4	92	7
		岡 崎 東	68	99.63	4	63	5
		岡 崎 南	79	98.68	4	79	0
		高 浜	42	99.19	3	44	△ 2
		豊 田	93	99.73	4	89	4
東 北 信 分 区	◎ ○ ○ ○ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○	豊 田 東	60	99.57	4	61	△ 1
		豊 田 西	77	99.03	4	74	3
		12C	874	99.29		851	23
		軽 井 沢	45	97.67	4	38	7
		小 諸	63	94.26	4	63	0
		丸 子	39	87.17	5	37	2
		南 佐 久	27	97.53	3	26	1
		長 野 野	94	99.60	3	95	△ 1
		長 野 東	76	98.26	4	76	0
		長 野 北	53	96.54	4	50	3
南 信 第 一 分 区	◎ ◎ ○ ◎ ○ ○ ○ ◎	長 野 南	34	100.00	4	35	△ 1
		中 野	49	94.42	5	44	5
		佐 久	43	97.67	4	38	5
		須 坂	45	94.80	4	45	0
		戸 倉 上 山 田	42	100.00	4	37	5
		上 田	72	95.84	4	63	9
		上 田 東	60	93.96	4	57	3
		14C	742	96.26		704	38
		茅 野	31	95.74	4	26	5
		富 士 見	36	92.32	4	32	4
南 信 第 二 分 区	○ ○ ○ ◎ ○ ○ ○ ◎	白 馬	38	80.70	3	37	1
		木 曾	47	93.25	4	48	△ 1
		松 本	77	99.64	4	73	4
		松 本 東	36	95.14	4	29	7
		松 本 南	81	100.00	4	80	1
		松 本 西	49	95.92	3	47	2
		岡 谷	67	98.48	3	65	2
		大 町	61	97.82	4	62	△ 1
		塩 尻	45	100.00	4	40	5
		諏 訪	60	92.50	4	60	0
計	○	12C	628	95.13		599	29
		飯 田	87	99.64	4	87	0
		飯 田 南	82	100.00	4	79	3
		飯 島	33	97.83	3	33	0
		伊 那	86	98.98	4	82	4
		駒 ヶ 根	63	100.00	4	62	1
		松 川	67	99.24	4	55	12
		箕 輪	32	94.13	4	31	1
		箕 輪 野	51	100.00	4	51	0
		8C	501	98.72		480	21
計	91 クラブ	6,245	97.96		6,056	189	

◎ 6 % 増強達成 ○ 3 % 増強中